



生徒会スローガン「一生懸命が、かっこいい！」くわでいーさー=モモタナ(樹木)

中城中
学校だより

くわでいーさー

令和3年(2021年)10月26日発行
発行者 安田智
電話 098-895-3271
No.22

3年生保護者対象、高校入試説明会を実施 ～県立高校入試の制度や手続きなど～

中学3年生にとって受検という大きな壁を乗り越え、次のステージに進むため現在、中学3年生は受検生として日頃の授業を真剣に受けています。また、進路指導の一環として各高校の体験入学等に参加しているところです。そして、10月19日に本校体育館で、3年生の保護者対象に今年度の高校入試説明会を開催しました。今年度は、コロナ感染予防対策として、生徒同伴はやめて5クラスを2つに分け前半を1組～3組、後半を4組5組の保護者のみの参加としました。

安田智校長のあいさつでは「コロナ禍でも本校の3年生は、学習面や部活動面と素晴らしい成果を収めています。全国学力テストでは、国語・数学とも県平均を上回り、部活動でも県大会や九州大会で活躍しました。いろいろな活動を通して大きく成長している3年生です。受検生として自覚を持って学校生活を送り、自己実現に向け日々励んでいます。受検本番に向け、先生方と保護者の皆さんと一緒に、お子さんの自己実現のために支えていきましょう」と述べていました。

高校入試説明については、進路指導担当の仲地香織先生が、
①県立高校の学区と定員 ②県立高校入試のしくみ ③県立高校入試の日程や願書提出期日 ④進路選択に向けての留意点 について説明してもらいました。3年生の皆さん、現時点で進路選択が未決定で迷っている人が多いかと思いますが、11月からは推薦制度の取り組みが始まりますので、高校の情報を収集し、親と相談しながら進路先を決定していただく。1・2年生の皆さんは、まだまだ進路選択は先で良いと思っている人が大多数かと思いますが、早めに自分が気になる志望校をインターネットや先輩たちから情報を集めておく。3年生になったときに余裕をもって受検に臨められるかと思いますが、また、推薦入試制度を有利にするためには、いろいろな行事等に積極的に参加し実績を築いてもらいたいと思います。



↑高校入試について説明する進路担当の仲地香織先生



↑5クラスを2つに分けて、生徒は参加せず保護者のみ、本校体育館で参加してもらいました

校内研修で「1次救命救急について」学ぶ!

10月22日、校内研修の一環として、中部徳洲会病院に勤める看護師長の曾根史郎さんをお招きし地域連携室にて実施しました。いつ何時、校内等で心拍が休止する事故が起こりうる可能性はあります。例えば、体育の授業での持久走や部活動でボールが胸にあたりたり、来校者による突然倒れてしまったりするなど学校内でも発生する可能性はゼロではないのです。そのため、毎年、先生方は**1次救命救急**について学んでいます。今年は、コロナ感染予防として全職員一斉で集まったの対面式ではなく、地域連携室に、10名程度が参加し、その他の先生方はその様子をビデオカメラの動画をリモートで、普通教室の電子黒板に映し出して研修に参加してもらいました。



↑先生方6人一斉に、リズムよく胸骨圧迫を体験しているところ

曾根さんからは「生徒が心肺停止になってしまったら、慌てず大声で助けを呼び、救急車を呼ぶ、AEDを持ってくることを支持し、すぐに胸骨圧迫を始めるように」と動画を交えて説明してくれました。説明のあと、ダミー人形を使って**胸骨圧迫**を音楽のリズムに合わせて、毎分100～120回の早さで胸骨圧迫の体験をしました。また、AEDの装着のしかたについては、装置に音声による指示があるので、手順よく操作できました。AEDの装置が学校のどこに配置されているか（本校は、職員室と体育館の2カ所に設置）、日頃から確認しなければならないと思いました。さらに、**アレルギー症状によるアナフィラキシーショックに対する処置**についても分かりやすく説明してもらいました。本校にもエピペンを所有する生徒がいますので、先生方も確実に理解しておかなければならない内容でした。エピペンの使用方法についても練習用を使って、太ももに針を打ち込む（針はナシ）体験をしました。次年度もいざという時に、一刻を争う場面が来ても、1次救命処置が出来るように先生方は学んでいきます。



↑曾根さんがエピペン練習用で、右足の太ももに打ち付けているところ



↑グループごとにダミー人形を使い、AED装置のバグレットを装着して胸骨圧迫をしているところ

↓職員室と体育館教官室の2カ所にAED装置を設置している

